

資料2

令和元年7月10日

## 墨田区における火災等の発生状況



本所消防署・向島消防署

# 目 次

## 1 火災の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

- (1) 東京消防庁及び本所・向島消防署の火災件数
- (2) 東京消防庁管内の住宅火災による死者発生状況
- (3) 東京消防庁及び本所・向島消防署の出火原因
- (4) 住宅防火10の心得

## 2 救急の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

- (1) 東京消防庁管内及び墨田区内の救急件数
- (2) 東京消防庁管内の年齢別搬送人員
- (3) 高齢者（65歳以上）の注意したい事故
- (4) 墨田区内の熱中症による救急搬送人員
- (5) 救急車の適正利用について

## 3 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

- (1) 地震に関する情報について
- (2) 総合的な防火防災診断の実施について

# 1 火災の状況

## (1) 東京消防庁及び本所・向島消防署の火災件数

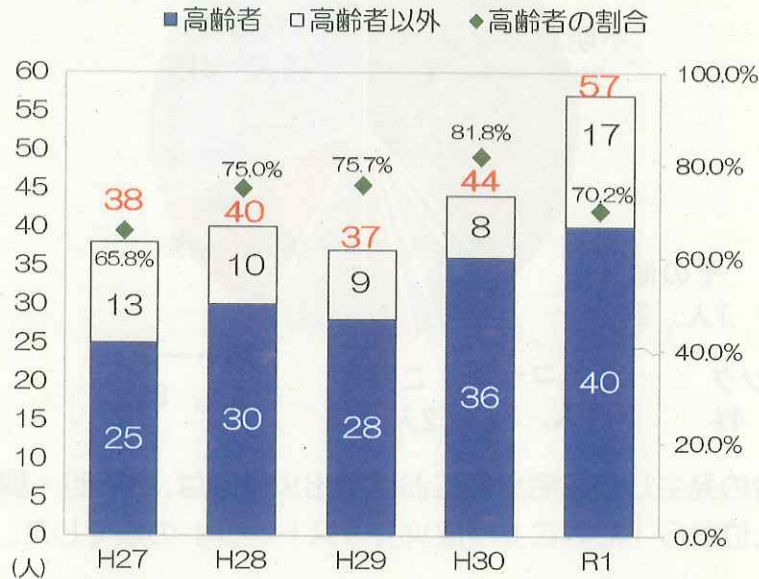
平成30年中										
	火災 件数	建物火災の程度別件数					建物以外 の火災	焼損床面積 (㎡)	死者 (人)	傷者 (人)
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや				
東京 消防庁	3,973 (-232)	2,697 (-140)	64 (-20)	87 (10)	446 (-28)	2,100 (-102)	1,276 (-92)	18,602 (-2,117)	86 (7)	798 (40)
墨田区 合計	80 (20)	59 (17)	1 (0)	1 (0)	16 (9)	41 (8)	21 (3)	242 (-3)	2 (2)	21 (8)
本所 消防署	40 (13)	32 (14)	0 (0)	0 (0)	8 (4)	24 (10)	8 (-1)	26 (-4)	1 (1)	6 (-1)
向島 消防署	40 (7)	27 (3)	1 (0)	1 (0)	8 (5)	17 (-2)	13 (4)	216 (1)	1 (1)	15 (9)

※ ( ) は前年比を示します。

令和元年中 (6月30日現在・速報値)										
	火災 件数	建物火災の程度別件数					建物以外 の火災	焼損床面積 (㎡)	死者 (人)	傷者 (人)
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや				
墨田区 合計	49	33	1	3	5	24	16	309	1	4

## (2) 東京消防庁管内の住宅火災による死者発生状況 (速報値)

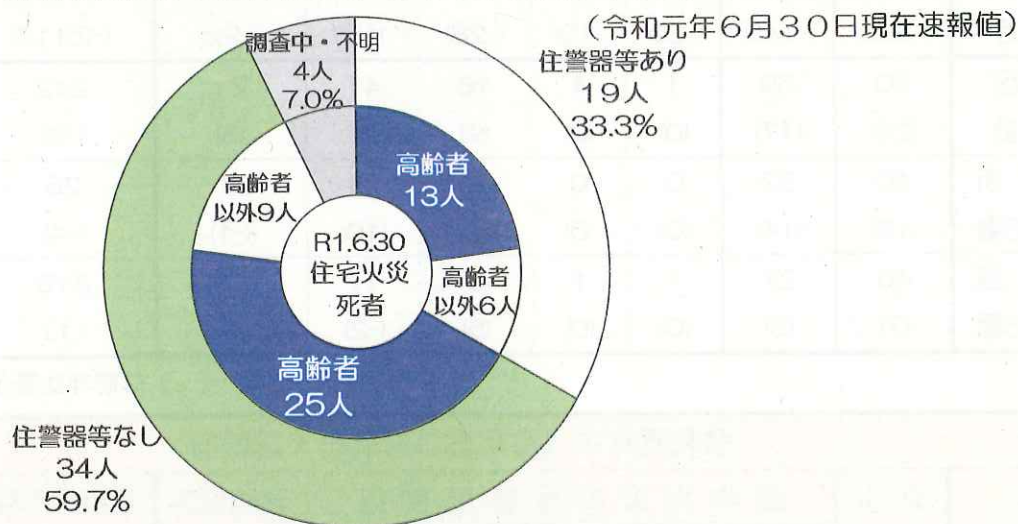
### ◆ 過去5年間同時期 (6月30日) の住宅火災による死者 (自損を除く)



東京消防庁全体では、令和元年6月30日までの住宅火災による死者（自損除く）は**57人**で、前年同時期と比較すると、**13人**増加しています。

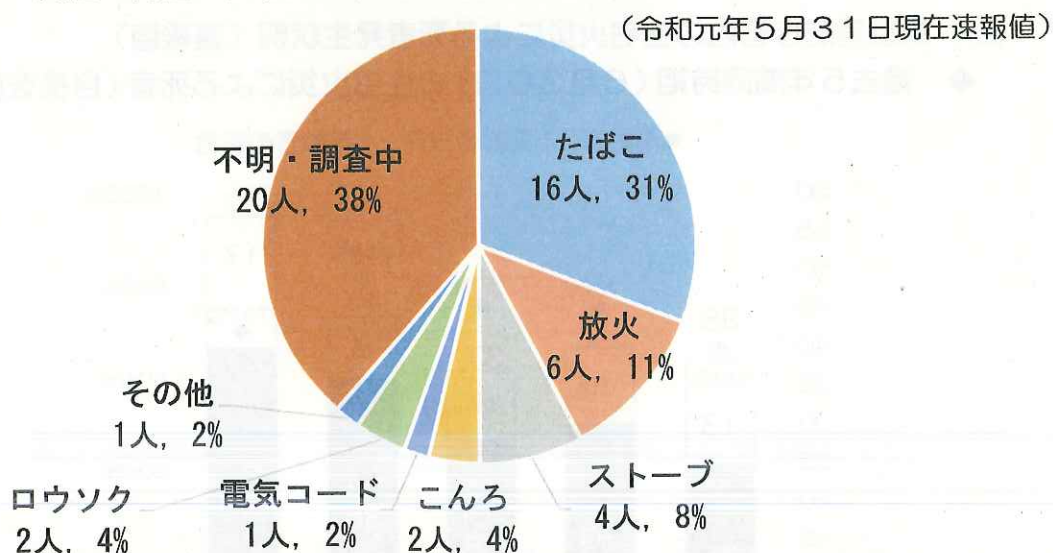
死者のうち、**高齢者の占める割合**は依然多く、死者の**70.2%**を占めています。

◆ 死者が発生した住宅火災における住宅用火災警報器の設置状況



住宅火災による死者57人中、**住警器等が設置されていない住宅での死者は34人で、59.7%**を占めています。

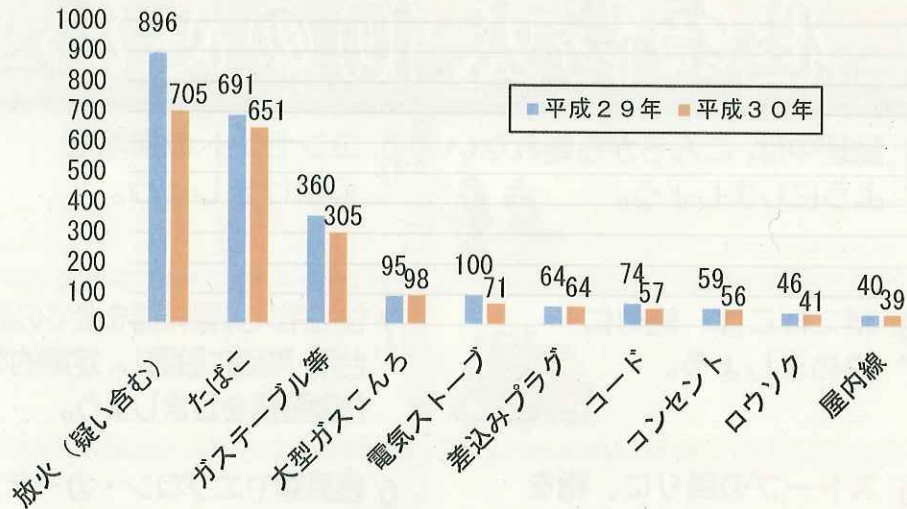
◆ 死者の発生した住宅火災における出火原因



死者の発生した住宅火災における出火原因は、「不明・調査中」を除くと、上位から**「たばこ」、「放火」、「ストーブ」**の順でした。

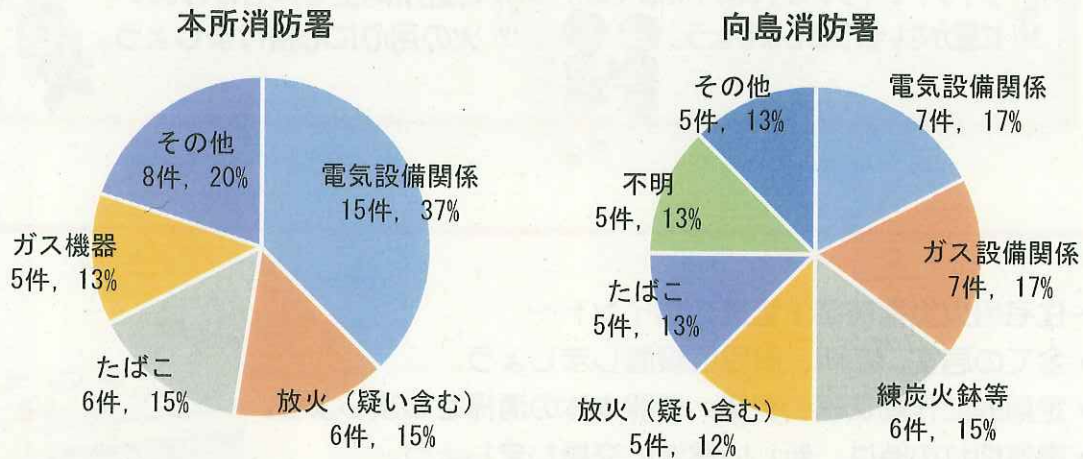
(3) 東京消防庁及び本所・向島消防署の出火原因

◆ 東京消防庁管内における出火原因上位10位（平成30年中）



主な出火原因は、上位から「放火（疑い含む）」、「たばこ」、「ガステーブル等」で、前年と順位に変動はありませんが、「放火（疑い含む）」は顕著に減少しています。

◆ 本所・向島消防署の火災原因の内訳（平成30年中）



墨田区の子な出火原因は、1位「電気設備関係」、2位「ガス設備関係」3位「放火（疑い含む）」及び「たばこ」となっています。

なお、電気設備関係の火災は、コンセントや家庭用電気機器からの出火が多くなっています。

(4) 住宅防火10の心得

# 住宅防火10の心得

1 調理中は、**こんろ**から離れないようにしましょう。



6 コンセントの掃除を心掛けましょう。



2 寝たばこは、絶対にやめましょう。



7 住宅用火災警報器を全ての居室・台所・階段に設置し、定期的な作動確認をしましょう。



3 ストープの周りに、物を置かないようにしましょう。



8 寝具類やエプロン・カーテンなどは、防災品にしましょう。



4 家の周りを整理整頓しましょう。



9 万が一に備え、消火器を設置し使い方を覚えましょう。



5 ライターやマッチを子供の手の届く場所に置かないようにしましょう。



10 ご近所同士で声をかけあい火の用心に心掛けましょう。



## ～住宅用火災警報器・管理のポイント～

- 全ての居室、台所、階段に設置しましょう。
- 定期的な作動状態の確認、機器本体の清掃をしましょう。
- 電池切れの時は、新しい電池に交換しましょう。
- 設置から10年を経過したものは本体の交換を検討しましょう。

(設置時期は、本体に記入した設置年月か、本体に記載してある製造年で確認できます。)



## 2 救急の状況

### (1) 東京消防庁管内及び墨田区内の救急件数（平成30年中）

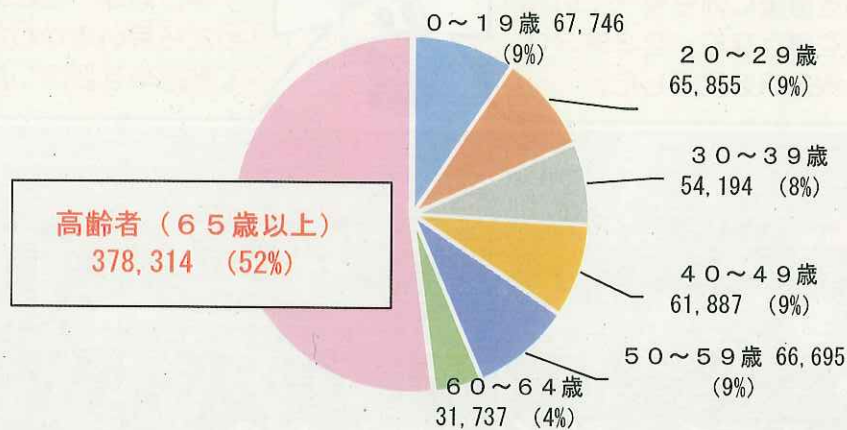
※（ ）は対前年比を示します。

	出場件数	事故種別件数				搬送人員
		交通	一般	急病	その他	
東京消防庁	818,062 (32,878)	47,957 (-2,647)	146,765 (8,120)	543,660 (28,194)	79,680 (-753)	726,428 (26,550)
墨田区	18,043 (927)	1,043 (-27)	3,101 (236)	11,794 (597)	2,105 (121)	15,942 (657)



- \* 東京消防庁の救急出場件数は、過去最多となりました！
- \* 墨田区内では、30分に1回の割合で救急車が出場しています！

### (2) 東京消防庁管内の年齢別搬送人員（平成30年中）



### (3) 高齢者（65歳以上）の注意したい事故（平成29年中）

#### 【ころび】



- ・約5万5千人の方が、ころんだことにより救急搬送されています。
- ・日常生活における事故のうち、約8割がころび事故です。
- ・家の中でころび事故が多く発生しています。

#### 【入浴中のおぼれ】



- ・冬に多く発生します。
- ・浴槽でおぼれる事故のうち、約9割が高齢者です。
- ・8割以上の方が、生命の危険が強い重症以上と診断されています。

#### 【窒息・誤飲】



- ・1,722人の方が窒息や誤飲により救急搬送されています。
- ・約3割の方が、重症以上と診断されています。
- ・餅による事故は1月に多く発生しますが、年間を通して発生します。

(4) 墨田区内の熱中症による救急搬送人員

※ 令和元年6月30日現在の速報値となります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	うち高齢者数 (%)
R1	0	1	0	1	3	5	—	—	—	—	—	—	10	8(80.0%)
H30	0	0	0	2	1	8	90	56	6	2	1	0	166	89(53.6%)

※ 墨田区は、令和元年5月中の救急搬送人員が23区内で最少でした。

【参考（東京消防庁管内）】

- 令和元年の救急搬送人員は631人（うち45.8%が高齢者）
- 平成30年中の救急搬送人員は8,295人（うち46.5%が高齢者）



(5) 救急車の適正利用について

【事例1】43歳の男性  
昼食を最後に何も食べていないため空腹となり、23時30分ころ救急車を要請した。



【事例2】24歳の女性  
歩けるが、どこの病院に行ったら良いのかわからないので救急車を要請した。

その電話、救急ですか？

救急車のいない消防署  
救急車の出動手数は、消防署ごとに異なります。出動できる救急車の数には限りがあります。また、緊急時のみ救急車の出動が利用でき、平常時から駆けつける救急車はありません。

東京都 東京都消防庁

病院？ 救急車？ 迷ったら…

# #7119

☎ 電話で相談  
東京消防庁救急相談センター

💻 ネットでガイド  
東京都救急受診ガイド

こちらからつながります

23区 03-3212-2323

多摩地区 042-521-2323

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

※ こんなときは迷わずに119番通報を！！

【意識がない、持続する胸痛、突然の激しい頭痛、突然うまく話せなくなる、など】



### 3 その他

(1) 地震に関する情報について

令和元年6月中に発生した最大震度4以上の地震は次のとおりです。

発生時刻		震源地
6月 1日(土)	7時58分	千葉県北東部
6月 4日(火)	13時40分	鳥島近海
6月17日(月)	8時00分	茨城県北部
6月18日(火)	22時22分	山形県沖
6月19日(水)	0時57分	新潟県下越沖
6月24日(月)	9時11分	千葉県南東沖
6月24日(月)	19時22分	伊豆半島東方沖

◆ 山形県沖を震源とする地震に関する情報について

令和元年6月18日(火)22時22分に山形県沖で発生した地震は、マグニチュード6.7、震源の深さは約14kmでした。新潟県村上市で震度6強が観測され、この地震による傷者は39名となっています。

傷者の発生状況等

転倒、家具下敷、ガラス等	23名
その他(受傷機転不明含む)	16名
合計	39名



※ 揺れによる転倒等で負傷する方が散見されました。

◆ 家具類の転倒・落下・移動防止対策

地震での家具の転倒等による避難障害や受傷防止のため、家具や電気製品等の転倒・落下・移動防止対策を実施しましょう。

#### 家具類の転倒・落下防止対策例

テレビや冷蔵庫等も忘れずに!

#### 家具類の移動防止対策例

## (2) 総合的な防火防災診断の実施について

「総合的な防火防災診断」は、高齢者や身体が不自由な方などの世帯を対象に、ご本人の了承を得た上で消防職員が戸別に訪問し、火災、地震等の災害や家庭内事故による被害の発生危険について、その改善方法のアドバイスなどを行います。



防火防災診断は、町会・自治会及び消防団等の関係機関と連携して行い、1回あたりの所要時間は約30分です。

### ◆ 防火防災診断のチェック項目例

#### 【火災】

- ・ 喫煙習慣や吸殻の廃棄状況
- ・ 暖房器具、ガスコンロや電気器具の使用状況
- ・ コンセントや電気配線等の状況
- ・ 住宅用火災警報器の設置状況 など

#### 【地震】

- ・ 家具類の転倒・落下・移動防止対策の実施状況
- ・ 家具類の配置状況や避難経路の確認
- ・ 非常時持ち出し品の準備状況 など

#### 【家庭内事故】

- ・ 階段や床などの転倒危険場所の確認
- ・ 浴室内事故、熱中症、一酸化炭素中毒事故の危険性 など



### ご注意ください！



防火防災診断を実施するにあたり、費用を請求したり、消火器や住宅用火災警報器などの物品、サービス等を販売したりすることは一切ありません。

消防職員の訪問を装った悪質な訪問販売等には十分ご注意ください。

なお、東京消防庁の職員は防火防災診断時には職員証を携行しています。